

アース21 札幌例会報告

平成19年度 第4回

開催日 平成 19年10月23日(火)～24日(水)

参加者 出席36名

●10月23日(火)

集合 12:30 ホテル集合の後、バスにて移動 各社のセーブエナジーの現場を見学する。

- 1、アシスト企画 モデルハウス見学
- 2、トレーダー 工事現場 (2件 南あいの里にて)
- 3、武部建設 完成現場 (厚別にて)
- 4、STV興発 完成現場(北野にて)



写真:左上から アシスト企画モデルハウス(外観・内部)、トレーダー現場(基礎工事)武部建設 現場見学(外観・内部)、STV興発 現場見学(外観・内部)。

現場に向かうバスの中で、翌日の例会の予定を繰り上げ、1、移動のバスの中で橋本会長の挨拶、2、升元副会長から北海道住宅通信社・野島さんの副会長就任の動議があり満場一致で可決された。3、高橋企画委員長から11月14日～16日の東京研修旅行についてのインフォメーションが行われた。

帰りのバスの中ではユーロハンズ小川さんより同社が輸入している熱交換型換気システムの情報提供があった。

18:30 宿泊先であるアートホテルズ2Fポプラの間にて懇親会。

● 10月24日(水)

8:30～9:00 例会

・菊澤広報委員長より、住まい情報誌の進捗状況の報告があり、11月25日に発売になる事、同時に11月30日に出版委員会を行い、最終校正を行う事が発表された。

9:00～10:00

1、道外からの本州移住計画について JTB北海道 市場開発室 稲村室長さま

「移住体験ツアー・おためし暮らしの展開について」と題してJTB様が現在取り組んでいる、移住を考えている人たちを対象にした旅行商品の説明があった。

2、野島さんより「アース21の森(仮称)」について、橋本会長を筆頭とする札幌の有志が行ってきた活動報告

と厚田の森の紹介を写真交えながらの報告があった。仮称「木と森と家を考えるアース21札幌有志の会」会則案の発表も行われた。

3、住宅金融支援機構 市川様より「フラット35S」の資料配布と情報提供があった。



写真左から 野島さん、住宅金融支援機構 市川様

4、セーブエナジーの取り組み

アシスト企画岡本さん、トレーダー瀧本さん、武部建設武部さん、STV興発北島さんより昨日見学した住宅についての説明があった。アシスト企画からは住宅の説明の他に排熱利用の融雪システム、トレーダーからは床暖用のイオンヒートパイプという商品、STV興発からはエコキュートの新商品の情報提供があった。

武部建設からは道庁の「北の木の家」普及促進事業の情報提供があった。

10:10～11:30 ホテルノースシティに移動し、グループ討議



写真左からA、B、Cグループ

11:30～12:00 各グループリーダーよりまとめの発表(下記は後日提出したレポート)

Aグループ

* セーブエナジー住宅の取り組みについて

・時間がなくて非常に難しい討議であった。もう少し時間をとって、全体に突っ込んで、討論を次回からはしたいですね。

・セーブエナジーには非常に興味があり、今回の見学会は、ためになりました。

・今後は、Q値0.8を目指した、住宅を作って生きたいと思っています。具体的には、断熱を、床下の土間下に、50mmのFP板、外壁は2×6なので、140mmのHG相当または、100+100のGW断熱、天井は、ロックウールで300mm、基礎は、外に100mmで、内に50mmのFP板、開口部は木製サッシにアルゴンガス入りの仕様

・現在は、契約書にQ値1.45以下にしますと明記しています。実情は、平均1.2～1.24ぐらいです。

仕様は、基礎BⅢの100mm、壁GW100mm+32kg/35mmボード、屋根断熱で、GW235mm、窓は、PVCローエのアルゴン入りで、換気は、第3種です。暖房は主にガスです。

・今年はまだ特に取り組んでいない。在来工法なので、今受注しているお客さんが平均坪50万円ぐらいなので、どこまでできるか勉強していきたい。

・現在建てている住宅は、ごく一般のオール電化住宅なので、これからの戦略として、セーブエナジーをメインに、言葉に出して、コストもエコでいけるようにやっていきたい。

・いままで、エアロバーコの3種だったが、最近1種のよいものができたみたいなので、つぎの現場からでも使ってみたい。

・最近、東北でもセーブエナジーについて、考える工務店が増えてきた。

・洞爺湖サミットは、環境サミットということなので、そこでも何かエコ的なものをしてみたいです。

・環境カウンセラーとして、「地球温暖化防止」の発言を、どんどんしていきたいと思っている。

・もう少し、子供や、女性にもわかるマニュアルとか説明パンフ等があれば、広がるのでは。

各社の現状について

・Rゴス問題！！80棟くらいやっていて、基本的に坪38.5万円をやっているが、なんと建て主にも、工事中の建物を見せないということらしい。どうしても必要なら、大工さんがいない日曜日とかに、営業マンと、こそっと覗きにいった、打ち合わせをするらしい。そんなのってアリ！？？？！

・Tホーム問題！！ サッポロドーム前のサンウェブ跡地にモデルルーム3棟できるそうです。仕様を松竹梅の3種類で、本体価格は、26.3万円だそうです。

・スウェーデンからみの集成材は、4スターに変わったときには、接着剤が変わって、特に耐水性の強いものになりました。

Bグループ

* セーブエネルギー住宅の取り組みについて

・皆さんの現場で勉強させていただいています。いつか早いうちに取り組みたいと思っています。

・予算をかけて需要があるのか？この地域比較的暖かいのでどちらかと言うと2x4から2x6にシフトしていきたいと思っています。

・Q1は数値を追いかめないほうがいい。熱交は全熱で手づくりがモデルという条件のなかで35%です。良い結果か？暖房方式は色々あるがお客様に選択させる。

・T2x4に参加、2x6で建てている土間床で蓄熱式(エクセルパイプ)が主。今回STVさんが良かった。基本は次世代越えか。

・らしきものにチャレンジしました。オール電化、暖給一体でキーテックの商品利用。ただ予算的には負担が大きくて。今の時代安い住宅が求められているのでは？したがって付加断熱とオール電化で勧めていく。

・チャレンジはこの辺まで。リーズナブルな価格の家に移行したい。セーブエネルギーでエコ、CO2削減など地球環境を守ることも進めたい。

・該当する様な建物はまだない、しいて言えば基礎断熱でSF50から100に変えた。暖房機を床下に入れたりパイピングをしたりコンクリートの熱容量を利用しています。

・2x8を2棟建てました。冬が楽しみです。1棟目は3層窓、基礎暖、熱交(ライフプレス)で0.93です。もう一棟は北窓にスペーシア、南にハニカムサーモ、第3種換気です。2棟ともフラット屋根、Rホイルで通気層を、外気温30°Cの時通気の中で40°C Rホイルの下で30°Cでした、効果はあるようです。

このような話の内容です。求められているのはリーズナブルな価格にセーブエネルギーをどのように実現するのかですね、基礎断熱と熱容量、そして安いイニシャルとランニングコストをみんなで模索、開発していかなければならないと思いました。

* 各社の現状、問題、方向性

海外に行って勉強したいとか伝統ある日本建築もみたいなどの話。工法の情報が多すぎてこちら側の選択が迷うとの声もあり、アースとして3~4種類の推薦できる、工法を見出してはいかがでしょうか？

最近の現場見学会は3連休とかゴールデンウィーク、お盆などの時の集まりがよくないそうです。複数社でスタンプラリーをしても、あまり効果がないようです。

中には連休にはモデル公開しないで土曜日のみ公開するとの仲間もいました。

Cグループ

* セーブエネルギー住宅の取り組みについて

・地球環境問題についての意識が一部だが、お客さんにも高まりつつあるようだ。いまのところQ-1の呼び名のほうが浸透している。

・建物の性能のみならず「太陽光発電」とか「まきストーブ」なども考えては。太陽光は使う人の意識の高低によって大きく変わるが、過去のデータで3KWくらいの発電容量で工事費がおおよそ220万円前後で発電と消費が半分、半分で約年9万円くらいの家庭もある。まきストーブをつかう場合は、まきの種類が大事だし、専用の吸気孔が必用で、レンガ等の設置とか積み方も大事になる。反面端材の処分ができる。ただし地域によっては役所が許可しないところも現実にあるようです。

・ほくでんとの契約アンペアを見直すとか、暖房・給湯の通電を5時間にするなど電気料金を下げる工夫をすることも大事では。

・軸組み・枠組み問わず壁は、軸間プラス外付加断熱。天井、ブローイング。床は、土間床or基礎断熱が多いのかなー。そして断熱材はロックウールの採用がおおいです。熱容量が大きいので数値以上の効果が期待できるらしい。ちなみにSブロー140m/mでネットこみm²/1000円程度で施工可能

・Q-1の名称で進めているが、これからは性能と価格と燃費をはっきりさせてユーザーにわかりやすく提案したい。坪「いくら」の提示でなく、この大きさと内容で1軒いくらですと示したほうがよいし、若い客層には企画タイプの値段のはっきりした物件が受ける。

例	Q-1タイプ	約36坪総2階	2100万円
	Q-1.3タイプ	約36坪総2階	1800万円
	Q-1.6タイプ	約36坪総2階	1500万円

Q値は示しているが灯油の消費は言っていない。換気装置の排熱(2台)を利用して36m²くらいのロードヒーティングする試みにもとりこんでいる。排気ダクトの中間に熱回収装置を取り付けることで。

・セーブエナジー(Q-1)住宅は10棟前後完成させているが、特別に進めていない。お客さんの反応は、灯油の使用量が少ないとか、春先の室内が暑すぎるとの話がある。第3種換気が良いのでは？

・シャノンがLOE-Eトリプルクリプトンガス入りガラスをセットした樹脂サッシを出すそうです。性能は開きタイプ16513熱貫流率1.11W/m²・K。

・セーブエナジー(Q-1)住宅は、特別な取り組みでなく断熱方法をはじめ、暖房、換気、及び過暖房等を含めトータルに考えると良いと思う。

・吸気孔で壁厚200m/mで15度加温できるタイプを開発中。試験的に使用出来るので希望者はアルデ吉村さんまで。

・消費電力の小さいモーター使用の換気装置は負荷がかかっている住宅では壊れやすい。換気装置は今後2~3年のうちに改良がすすみ飛躍的に変わるだろう。

以上。